

さつまいも収穫体験 (幸津川農業6次化プロジェクト)

幸津川農業6次化プロジェクトの概要

2019年遊休畑地の解消と町おこしをめざし立ち上げ

- ・町内産の小豆の栽培
- ・小豆ともち米を使った「幸福(こふく)赤飯」の製造、販売
- ・小豆を使った「小豆あめ」の販売
- ・地元産もち米を使った鏡餅の製造、販売
- ・「梨ジャム」の製造、販売

さつまいも収穫体験 について

6次化プロジェクトの一環として、こども園や町内外の子どもを対象に農業体験を開催し、農業への興味・関心を高める。

本年度は、中洲こども園4歳児に植え付けを体験してもらい、イモ掘り体験については、町内だけでなく、募集範囲を市内全域に広げ、多くの子どもたちに農業の魅力を感じてもらう。

10月

10月8日 町民親子によるいもほり



10月12日 中洲こども園4歳児によるいもほり



5月

5月25日 中洲こども園4歳児による苗植え



5~9月

会員による除草作業



水やり

成果と課題

- ・参加した子どもたちは、自分の手で大きなイモを掘りおこすたびに、満面の笑みで周りの大人に見せていた。
- ・「さつまいもって、すごいな」とつぶやいた子がおり、自分たちの植えたサツマイモの生長に驚きを感じていた。
- ・町内からは6組15名の参加があった。
- ・広報もりやまで、市内全域に案内したが、残念ながら参加者はなかった。

今後も継続して農業体験の機会を設け、農業の良さや大切さを発信していきたい。